

# H.C.R. 2006 第33回 国際福祉機器展H.C.R. 2006報告

## 1 オープニングセレモニー Opening Ceremony

第33回国際福祉機器展H.C.R. 2006は、来場された皆様や後援・協賛団体など関係者を前にして、全国社会福祉協議会 会長 長尾立子の開会宣言で3日間の幕を開け、引き続き行われた「くす玉」オープン（海外コーディネーター クリスチャン・カーステンセン氏 [デンマーク]、同 トム・ボーチャーディング氏 [U.S.A.]、当協会 理事長 末次彬）により開場いたしました。

- 日時 9月27日（水）9:50～
- 場所 東2ホール前



## 2 16か国・地域、632社・団体が出展 632 Exhibitors from 16 Countries / Territories

国内企業・団体の出展は554社・団体（新規出展88社・団体）、海外企業・団体は15か国・地域より78社が出展しました。

全体では、5万㎡（野球場6面分）の会場に、25,000点をこえる福祉機器・介護用品が総合展示されました。例年に比べ1社あたりの面積が広がった結果、実展示面積は過去最大となりました。

国名	社数	国名	社数
日本	554	メキシコ	1
アメリカ	16	オランダ	4
オーストラリア	1	ノルウェー	2
カナダ	3	スペイン	2
中国	2	スウェーデン	8
デンマーク	13	スイス	1
フィンランド	1	台湾	7
フランス	4	イギリス	5
ドイツ	8		



## 3 出展関係者の交流会を開催 Social Event for Exhibitors & Other Guests

出展社・団体、後援・協賛団体など400名を超える関係者が参加し、交流会が開催されました。交流会では、保健福祉広報協会 末次彬 理事長による主催者あいさつの後、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 中谷比呂樹 部長より祝辞をいただきました。

また、国際福祉機器展15回出展社・団体に対し、主催者より感謝状と記念品が贈られました。今年は、海外2社、国内7社・団体となりました。

### ● 15回出展企業 感謝状贈呈

海外2社 国内7社・団体（アルファベット/五十音順）

- ・ Scantal Textile A/S (Denmark)
- ・ Sunrise Medical Tecnologias S.A. de C.V. (Mexico)
- ・ 株式会社 アクセスインターナショナル
- ・ ケイ・ホスピア 株式会社
- ・ サラヤ 株式会社
- ・ 大同工業 株式会社
- ・ 東海機器工業 株式会社
- ・ 東陽精工 株式会社
- ・ 株式会社 リブドウコーポレーション

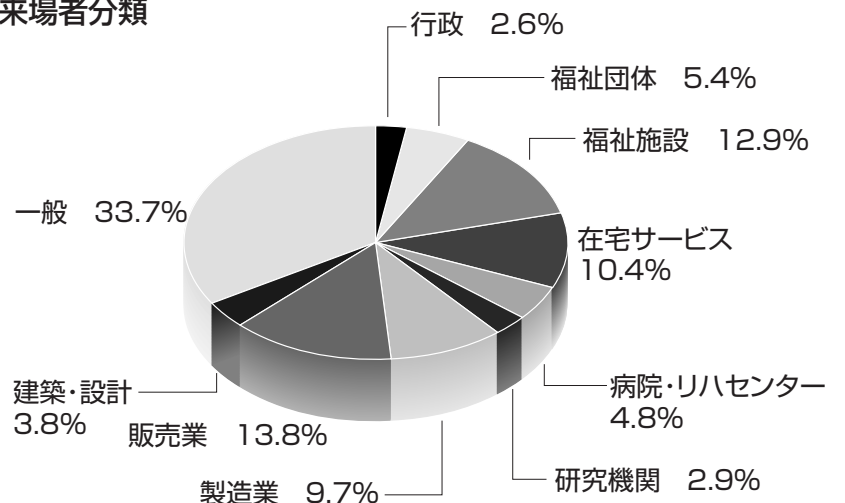


## 4 130,000人超が来場。 一般来場者の割合が増加 130,000 Visitors Increase in the General Public

第33回国際福祉機器展H.C.R. 2006は述べ来場者130,627人となりました。来場者の分類では、一般の方が33.7%と一番多く全体の約3分の1を占めました。次に販売業13.8%、福祉施設12.9%、在宅サービス10.4%と続いています。来場者分類の割合は、昨年度とほぼ同じでした。

月 日	来場者数	天気	累計来場者数
9月27日（水）	42,207人	午前中雨のち曇り	—
9月28日（木）	44,047人	快晴	86,254人
9月29日（金）	44,373人	曇り	130,627人

### ● 来場者分類



## 5 出展製品 Exhibition Products

介護保険制度改正の影響から今年度の製品分野別の出展社数は、ベッドが減り、その反面、リハビリ機器および筋力トレーニング機器、身体機能訓練機器、口腔ケア用品などの介護予防機器・用品が増加する傾向が見られました。

### 【製品別出展社数】

① 移動機器			
1 手動車いす	68	9 ストレッチャー等移動器具	7
2 車いす関連用品	70	10 移乗補助機器	16
3 電動車いす	40	11 床走行リフト	19
4 電動三輪・四輪車	13	12 固定式・据置式リフト	20
5 自転車	1	13 障害者用自動車運転装置	10
6 介助車	20	14 車いす専用福祉車両	20
7 歩行者・歩行補助車	56	15 入浴用特殊車両	2
8 杖	42	16 その他、移動関連機器	29
② ベッド用品			
17 ベッド	41	20 介護用シーツ	22
18 マットレス、床ずれ予防製品	69	21 その他、ベッド関連用品	21
19 サイドテーブル	13		
③ 入浴用品			
22 浴槽	18	25 浴槽台	20
23 入浴用チェア	37	26 入浴用リフト	16
24 滑り止め用品	14	27 その他、入浴関連用品	2925
④ トイレ・おむつ用品			
28 ポータブルトイレ	26	31 トイレ関連用品	38
29 便器・便座	18	32 おむつ関連用品	31
30 防臭剤、消毒剤	14		
⑤ 日常生活用品			
33 いす・座位保持/立ち上がり補助用品	42	39 調理器	8
34 テーブル	17	40 衣類	31
35 家具	16	41 靴	34
36 洗面台	9	42 着脱衣補助具	2
37 食器・食器	23	43 介護関連用品	43
38 キッチン	15	44 その他、日常生活関連用品	40
⑥ コミュニケーション機器			
45 補聴器	8	50 拡大読書器	3
46 緊急通報・警報装置	18	51 福祉電話、FAX、携帯会話補助器	5
47 障害者用ワープロ・コンピュータ、点字プリンター	9	52 視覚障害者用誘導システム	7
48 OA入力・操作補助具	6	53 その他、コミュニケーション関連機器	23
49 障害者用ソフトウェア	9		
⑦ 建築・住宅設備			
54 スロープ	21	57 段差解消機	26
55 手すり	33	58 階段昇降機	13
56 エレベーター	7	59 その他、建築住宅関連設備	31
⑧ リハビリ機器			
60 歩行等訓練機器	23	61 リハビリ用教材・機器	38
⑨ 義肢・装具			
62 義肢・装具	12		
⑩ 防災用品			
63 高齢者・障害者用防災用品	9		
⑪ 施設用設備・用品			
64 施設用床材・壁材	3	67 介護従事者用衣類	5
65 洗濯機・乾燥機	9	68 その他、施設関連設備	18
66 消毒機・脱臭器・空気清浄器	13		
⑫ 在宅・施設サービス経営情報システム			
69 福祉事業関係コンピュータシステム	35		
⑬ 介護予防機器			
70 筋力トレーニング機器、身体機能訓練機器	54	71 口腔ケア用品	18
⑭ 出版・福祉機器情報			
72 福祉・介護・リハビリ・保健関係書籍、情報誌、新聞、放送通信、福祉機器関連webサイト	36		

## 6 ヨーロッパ・アメリカ・東南アジア各国から講師を招き、国際シンポジウムを連日開催

### H.C.R. 2006 International Symposiums

国際福祉機器展の開催に併せ、海外から専門家を招き国際セミナーを開催しました。欧州の障害者の自立を支える制度の仕組み、米国の高齢者虐待防止法に関する動向について、欧米から専門家を招き最新情報を報告いたしました。また、2004年12月のスマトラ沖地震・津波により被害を受けたアジア諸国の復興状況と子どもたちのケアについて、現地で活動する各国の民間の社会福祉団体の指導者を招き、事例や課題を報告いたしました。

各シンポジウムともその後、わが国の現状を踏まえ参加者と意見交換をし、理解を深めるところとなりました。参加者数は述べ662人でした。

### 9月27日(水)「障害者の自立を支える制度の仕組み(ヨーロッパ)」

#### ●シンポジスト

ハンス・ファン・エイベック氏 国際社会福祉協議会ヨーロッパ代表  
イブ・ヴァルスボルグ氏 デンマーク財務省副事務次官、元保健省事務次官

#### ●チューター

山本たつ子氏 社会福祉法人天竜厚生会常務理事

### 9月28日(木)「米国の高齢者虐待防止法の歴史と現状」

#### ●シンポジスト

ロバート・ブランカート氏 元米国連邦下院高齢化問題特別委員会ヒューマンサービス小委員会事務局長、元ホワイトハウス高齢化問題会議事務局長

#### ●チューター

多々良紀夫氏 淑徳大学総合福祉学部・大学院総合福祉研究科教授

### 9月29日(金)「スマトラ沖地震とアジアの子ども」

#### ●シンポジスト

スリサク・タイアリー氏 タイ国児童青年発達協会(NYCD)事務局長  
シロガマ・ウィマラ氏 ネセック財団(NESEC)理事長  
マルミタサリ氏 ヤヤサンウサハムリア財団(YUM)理事

#### ●チューター

高塚政生氏 障害者生活施設なかまたち施設長 元海外協力NGO職員



## ◎ 主催者企画、「子ども広場」を特設

主催者企画・展示として特設した「子ども広場」では、車いすや日常生活用品の他に学習機器やコミュニケーション機器など親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器を総合的に展示いたしました。あわせて、同広場では福祉機器の利用や療育などの相談コーナーを設け、無料で子育て支援のための情報提供や相談をおこないました。



①期間 2006年9月27日(水)～29日(金)

②場所 東京ビッグサイト東1～2ホール「特設会場」

③内容

ア. 障害のある子どもに関する相談：福祉機器相談、療育相談

イ. 子ども用の福祉機器の展示：学習機器・コミュニケーション機器、車いす、バギー・歩行者、いす、食器・食器、衣類・靴

運営協力	相談コーナー	横浜市総合リハビリテーションセンター
	福祉機器展示	(有)ウインド、(株)ウェルパートナーズ、M&Rるーむ、エンゼルグループ、オットーボック・ジャパン(株)、(株)学習研究社、(株)加地、(株)カワムラサイクル、岐阜県健康福祉部、黒田(株)、コートドール(有)、(株)コーヤシステムデザイン、(有)コス・インターナショナル、(株)コムラ製作所、(株)コラボ、(株)城南電器工業所、昭和貿易(株)、(株)シンエンス、澄建設(有)、(独)労働者健康福祉機構総合せき損センター、(株)台和、タカノ(株)、チャップリン、テクノグリーン(株)、(株)テクノスジャパン、東洋繊維興業(株)、(株)ナムコ、(資)ハートウォーカージャパン、パシフィックサプライ(株)、(有)飛翔、(有)バムック、バンテラ・ジャパン(株)、ファイン(株)、フランスベッドメディカルサービス(株)、(株)プロップ、松下電器産業(株)、(株)ワールドバイオニア

ウ. ひとやすみコーナー(休憩)

## 7 ふくしのスキルアップ専門職講座 Social Welfare Skill Development Programs for Specialists

福祉・介護職のスキルアップを図るため、新たな高齢者・障害者の分野に直結した知識や情報を得ることを目的に、精神障害者の課題や医療・福祉分野の外国人労働者など8つのテーマをもとに、専門職講座を開催しました。

どの講座も関心が高く、介護支援専門員、社会福祉施設従事者、ホームヘルパー、社協職員など延べ1,555名が参加し、課題に対する理解を深めました。

27日(水)	10:00~12:00	「社会福祉施設における精神障害者処遇／養護老人、救護、母子生活支援施設」 K6-1 講師：山口保雄氏 養護老人ホーム愛友園施設長 守家敬子氏 救護施設萬象園施設長 兜森和夫氏 母子生活支援施設白百合ホーム施設長 司会：滝沢武久氏 目白大学客員教授
	13:30~15:30	「ドイツ、オランダにおける医療・福祉分野の外国人労働者」 K6-2 講師：多々良紀夫氏 淑徳大学総合福祉学部・大学院総合福祉研究科教授 塚田典子氏 日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科教授 関根陸雄氏 社会福祉法人徳心会常務理事 司会：田澤英二氏 保健福祉広報協会評議員
	13:30~15:30	「環境福祉事業の展望～リサイクルの新展開～」 K6-3 パネリスト：炭谷茂氏 環境省事務次官 柴田いずみ氏 株式会社ヨコタ東北環境教育チームリーダー 石谷由里氏 NPO法人みどりの家理事長 司会：小池大哲氏 創造学園大学学長



28日(木)	10:00~12:00	「社会福祉施設と指定管理者制度」 K6-4 講師：財前民男氏 社会福祉法人光明会理事長 株式会社三菱総合研究所 司会：菊池繁信氏 社会福祉法人吹田みどり福祉会理事長
	13:30~15:30	「高齢者介護と苦情の実態」 K6-5 講師：橋本泰子氏 大正大学人間学部人間福祉学科教授 古賀成子氏 東京家政学院大学人文学部人間福祉学科助教授
29日(金)	10:00~12:00	「高齢者虐待防止法の内容と運用」 K6-6 パネリスト：金子善彦氏 前横浜市港南福祉保健センター長、日本高齢者虐待防止学会副理事長 大光房枝氏 松戸市役所健康福祉本部総保健師長 コーディネーター：多々良紀夫氏 淑徳大学総合福祉学部・大学院総合福祉研究科教授
	10:00~12:00	「障害者自立支援法と障害者の生活を考える」 K6-7 講師：斉藤公生氏 社会福祉法人東京リハビリ協会理事 久木元司氏 社会福祉法人常盤会理事長 司会：磯彰格氏 社会福祉法人南山城学園理事長
	13:30~15:30	「高齢者、障害者の施設における事故防止」 K6-8 講師：石神重信氏 日本リハビリテーション医学会常任理事

## 8 特別セミナー 「福祉機器 選び方・使い方」を開催 Special Seminar: How to Select & Use Home Care & Rehabilitation Equipment

福祉機器の利用のソフトを提供する特別セミナー「福祉機器 選び方使い方」を開催しました。

専門家が、8つのテーマ毎に福祉機器の利用者やその家族、社会福祉施設職員、ケアマネジャー等の介護専門職、福祉サービス従事者を対象として、「利用する方に合った福祉機器の選び方」「福祉機器の効果的な正しい使い方」をわかりやすく解説しました。どのセミナーも利用者の関心が高く、参加者数は延べ1,734名でした。



また、副読本として「H.C.R.2006福祉機器 選び方・使い方」をH.C.R.2006会場内で販売した他、全国的に普及をはかるためインターネットでも販売いたしました。

	時間	テーマ	講師名
27日(水)	11:00~12:00	トイレ・排泄用品「これでわかる『トイレ・排泄用品』の選び方・使い方の基礎知識」	牧野美奈子氏 コンチネンズジャパン(株) 教育ビジネス係長
	13:00~14:00	福祉車両「福祉車両の選び方・使い方の基礎知識」	熊倉良雄氏 国立身体障害者リハビリテーションセンター厚生労働技官 岩崎洋氏 国立身体障害者リハビリテーションセンター病院理学療法士
	15:00~16:00	ベッド「ベッドの選び方・利用のための基礎知識」	市川列氏 福祉技術研究所(株) 代表取締役
28日(木)	11:00~12:00	入浴機器「入浴機器の選び方・利用のための基礎知識」	加島守氏 高齢者生活福祉研究所所長
	13:00~14:00	車いす「あなたに合った車いすの選び方・利用のための基礎知識」	吉川和徳氏 ふつうのくらし研究所所長
	15:00~16:00	自助具「自助具の選び方・利用のための基礎知識」	小嶋寿一氏 グループヒューマンクラフト代表
29日(金)	13:00~14:00	コミュニケーション機器「コミュニケーション機器の選び方」	中邑賢龍氏 東京大学先端科学技術研究センター特任教授
	15:00~16:00	住宅改修「住宅改修方法の基礎知識」	橋本美芽氏 首都大学東京准教授

## 9 特別講習「高齢者の食事の作り方 (おいしい、美しい、簡単)」 Special Course: Meals for the Elderly

高齢者や病弱者のよりよい健康を考えるうえで「食事」は重要なテーマです。H.C.R.2006では、「おいしい、美しい、簡単」をテーマとし、フランス料理をベースにしたメニューをもとに、高齢者の食事に役立つ工夫やポイントを紹介いたしました。参加者数は236人でした。

日時 2006年9月29日(金) 11:00~12:00  
場所 東京ビッグサイトレセプションホール  
講師等 調理師 岩月明氏 日東レストラン・システム(株) 総料理長  
栄養士 山田俊江氏 管理栄養士、日本糖尿病療養指導士  
田中範正氏 知食の会代表幹事・主宰者  
司会 後藤美代子氏 元NHKアナウンサー

